

## □令和7年度スローガン

笑顔あふれる  
「み」みつけよう夢を  
「た」高めよう志へ  
助け合おう友と  
「ち」知恵と  
「や」やる気と  
「ま」真心で

## 【「御館っ子らしさ」の3本柱】

～いつでも・どこでも・だれとでも～  
～学びをつなげる～  
～何ができる?どう動く?～

### 【ひとり言】

入学式翌朝  
新1年生が  
元気に登校してきました。

この時期によく見かける  
微笑ましい光景があります。

それは、一緒に登校する上級生  
(お兄ちゃん・お姉ちゃん)が、  
「ほら、挨拶せんばよ」と、  
朝の挨拶を促す(教える)光景です。

小学校に通う先輩としての  
頼もしさと有り難さを感じます。

その導きのお陰も大きいのでしょう。  
今年の1年生も  
とても元気で明るい  
挨拶ができます。

そして、  
その1年生の元気な挨拶に  
引っ張られるように、  
上級生の挨拶も普段に増した  
元気の良さです。  
特に今年は、  
自分から進んで挨拶をする子が増え、  
とても気持ちいいです。

また、子どもたちを見守り  
一緒に登校してくださる  
保護者の皆さん方も、  
皆さん明るい挨拶をしていただき、  
私も毎日  
元気をいただいています。

立哨指導をしていただいている  
地域の皆様からの  
継続的な声掛け・挨拶も含め、  
この明るい挨拶は、  
御館山小の、そして地域の、  
素晴らしい伝統の一つに  
なりつつあります。

「御館山の自慢は何ですか？」  
と聞かれたとき、  
みんなが迷うことなく  
「明るい挨拶です！」  
と言えるように、  
この素敵な挨拶を継続し、  
更に広げていきましょう！

## 令和7年度入学式。御小に139人の新しい仲間が加わる！

昨日4月9日(水) **令和7年度入学式** を行いました。

3月下旬に開花した桜の木は、幾度かの風雨に耐え入学式の日まで、花びらを残してくれました。  
そんな麗らかな春の日、**139名の新1年生**が、御館山小学校に入学しました。

1年生担任に先導されながらニコニコ笑顔で入場してきた新1年生。  
新入生呼名(返事)は、それぞれのご家庭で何度も何度も練習していただいたのでしょうか。  
みんな「はいっ」という返事のあと、手を挙げて会場の参加者にしっかりと一礼ができました。

また、校長式辞の際には、  
(「入学おめでとう」)『ありがとうございます』、(「〇〇しましょうね」)『はい』など、  
呼びかけに対ししっかりと反応が出来ていた1年生…。  
これには、職員や来賓の方々からも  
「しっかりと集中して話が聞けていましたね。」「反応がとても良かったですね」などと、  
新1年生のしっかりとした態度に、賞賛の声が挙がっていました。  
担任の話を聞くと、教室でも集中した様子が見られたとのこと…。  
1年生の頑張りが表情に楽しみのようになった4月9日でした。

一方で、この入学式に向けて意識を高めて頑張ったのが、  
御館山小の**新しいリーダーとなった6年生**です。  
6年生は、“憧れられる6年生”、“凄いと言われる6年生”を目指した最初の取組が、この入学式です。  
式場・教室準備から、新入生・保護者の方の出迎え、教室でのお世話、誘導、片付け等々…、  
積極的に仕事を見つけて取り組む一つ一つの姿から、  
「自分に何が出来る？」の意識が強く感じられました。  
6年生にとっても、新リーダーとしての自覚が高まり、それを行動で示すことが出来た、  
素晴らしいスタートの日となりました。

## 始業式で6年生代表の2人が「今年度の決意」を述べました！

みなさん「おはようございます。」今日から新しい学年、クラスでの生活が始まりますね。仲良しの友達とは、一緒にのクラスになれましたか。なれなかった人も新しいクラスで友達をたくさんつくっていきましょう。  
新しい学年のスタートにあたり、私は、最高学年として下級生のお手本となるような6年生になりたいと思っています。例えば、ろう下の『はさみ歩き』です。私は、ろう下で走っている人をよく見かけます。そのため、声で注意をするのではなく、態度で示そうと思います。お手本となる6年生がいることで、学校を変えていけると思うからです。

そして、私は『笑顔あふれる御館山小学校』にしていきたいです。今もたくさんの笑顔があふれていますが、100パーセントのうち85パーセントくらいです。笑顔をたくさん増やして、100パーセントになれるようがんばりましょう。そのために6年生としてできることをさがして実行する1年間にします。

6年 柴田 夏蓮

いよいよ、新しい1年間がスタートします。ぼくたち6年生は、最後の小学校生活となります。  
ぼくは、そんな小学校生活最後の1年間に、やりたいことがあります。それは、『御館山小学校に恩返しをすること』です。なぜなら、この5年間生活した御館山小学校、色々お世話になっている先生方やたくさん遊んだ友達との時間、その最後の1年間だからこそ、御館山小に恩返ししたいと思うからです。そのために、1年間を通して、この御館山小を思いやりがあり元気いっぱいな小学校にしていきたいです。

例えば、一人一人が自分からスリッパを並べるなど、人の事を思って行動していけるような取組を全校でがんばっていきたいです。

こういう取組を考えて実行していく…、そのリーダーの役割を6年生が果たしていく…、そんな1年間にしていきます。

6年 富田 結翔

始業式では、6年生の柴田夏蓮さん富田結翔さんの二人が、新年度の決意を発表しましたが、感心したのが2人とも自分だけのことでなく、6年生として、リーダーとして、「こんな学校にしたい」そして「そのために自分はこう頑張る」と、最上級生として自分に出来ることを目標としていることです。  
このような6年生が引っ張る、今年度の御館山小学校…。  
子どもたち自身が自分たちの手で、より良い学校を目指して動いていく…。  
非常に頼もしい、新年度最初の決意発表でした！